

明窓

きららとしゃかん明德館
図書館だより
第 87 号
発行 令和4年3月18日
秋田市立中央図書館明德館
秋田市千秋明德町4番4号
電話 018-832-9220

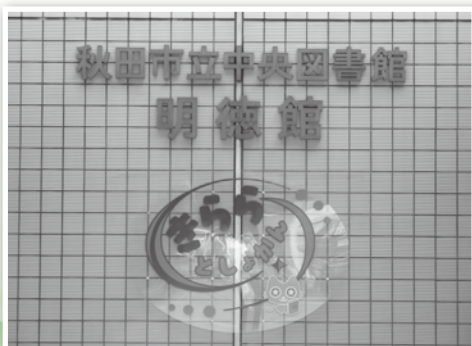
きららとしゃかんを
よろしくお願いします！

秋田市立図書館は、平成27年度からネーミングライツ・パートナー制度を導入しています。この制度は、契約により、市の施設などに企業名や商品名等を冠した「愛称」を付けていただくことで、施設の利用者などへのPRができるというメリットに対し、その対価をお支払いいただくものです。秋田市立図書館では、対価を図書資料購入などにあてることで、より充実した図書館づくりに貢献いただいています。今年度から、福祉施設などを運営する「株式会社きららホールディングス」が新しいパートナーとなり、愛称も「きららとしゃかん」となりました。

愛称変更に伴い、各市立図書館には「きららとしゃかん」という愛称が入った看板が設置されました。

また、明德館では令和3年7月2日に看板の除幕式を開催し、市民の皆さんにもご覧いただきました。本来4月に行う予定だったものが、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れてしまいましたが、当日は晴天となり、きらら保育園かんとすこやか保育園の園児たちにも手伝ってもらい、除幕を行うことができました。

株式会社きららホールディングス代表取締役、鈴木嘉彦さんは除幕式のスピーチで、「きららとしゃかん」という愛称について、子どもからシニアまで、訪れた方の瞳がきらきらと輝くような図書館であってほしいという願いを込めて付けたとお話されています。これからも、きららとしゃかん明德館をどうぞよろしく願っています。



こちらが「きららとしゃかん」の看板



式典後の記念撮影



いざ、除幕！

明德館日和

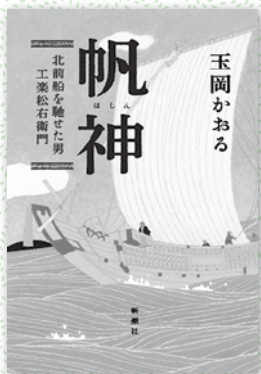
館長 齋藤 徹

大晦日、まだ丑年のうちに寅に変身してしまいました。新年もどうぞよろしく願っています。

今回は旧年中に読んだ本からお薦めを紹介。「帆神 北前船を馳せた男 工楽松右衛門」(玉岡かおる著 新潮社)「北前船」が気になって手に取る。

播州高砂の漁師の長男、訳あって故郷を追われるが、船頭で名を上げ、海商として出世する一代記。船の走りを一変させる「松右衛門帆」など船の改良と港湾改修で、海運に革命をもたらす。頂いた名字が工夫を楽しむ「工楽」。読後は実に爽快だ。秋田の港や、松右衛門を崇拜する高田屋嘉兵衛も登場。思いがけず、三十年ぶりに「菜の花の沖」を読み返す。

丑年に偶然読んだが、松右衛門の幼名は「牛頭丸」。さて今年は寅に因んだどんな本と出会えるか楽しみだ。



玉岡かおる 著
『帆神』(新潮社刊)

「配本ステーション」が増えました

当館では、図書館から遠く離れた地域にある公共施設や社会福祉施設などに配本ステーションを設置し、貸出・回収する配本事業を行っています。年間配本日程表に基づき、年6回巡回し、おおむね2か月で本を交換するものです。配本冊数は、原則30～50冊で、内容は配本ステーションの希望に添うように当館が選びます。

今年度から、新たに広面児童館への配本を始めました。構成内容は、絵本20冊、読みもの20冊、紙芝居5冊、工作の本5冊です。こちらには小学校低学年向けの内容の本を選んでいきます。

他にも、サービスセンターやコミュニティセンター、老人ホーム、託児所にも配本を行っています。大人向けには、小説や料理の本、園芸の本など、いろいろなジャンルの本を届けています。周辺にお住まいの方が利用できる配本ステーションもあります。詳しくは秋田市立図書館Webサイトの「配本事業について」をご覧ください。

配本を希望される場合は、事業所の概要や住所が確認できる資料をご用意の上、当館にご相談ください。
(令和4年度の配本希望の受付は終了しました)



広面児童館



太平地区
コミュニティセンター

背ラベル更新作業進行中

秋田市立図書館の本は、これまで1978年に改訂された日本十進分類法（NDC）第8版に基づいて背ラベルを作成し配架しておりましたが、現在、最新版第10版（2014年改訂）に移行し、貼り替え作業を進めています。



背ラベルは分類記号や図書記号などを活用し、本を探しやすくするため、図書館の本の背に貼られています。一度にすべてのラベルを貼り替えることは困難なため、しばらくの間、旧ラベルと新ラベルが混在します。ご理解とご協力をお願いいたします。

日本十進分類法とは？

日本の公共図書館の大多数が分類方法として採用している日本十進分類法は、本の内容を10のグループ（第一区分）に分け、さらにその1グループを10に分けて細かく分類していくものです。

1928年に森清が「和洋図書共用十進分類表案」を発表し、翌年「日本十進分類法：和漢洋書共用分類表及索引」として刊行されたのが始まりです。

【第一区分】

- | | |
|---|------|
| 0 | 総記 |
| 1 | 哲学 |
| 2 | 歴史 |
| 3 | 社会科学 |
| 4 | 自然科学 |
| 5 | 技術 |
| 6 | 産業 |
| 7 | 芸術 |
| 8 | 言語 |
| 9 | 文学 |

以降、時代が移りゆく中で改訂を重ね、2014年に最新版である現在の新訂第10版が登場しました。

分類することによって同じジャンルの本がまとまって並ぶので、書名が不明でも探しやすい棚になります。

移動図書館イソップ号特別出動！ あそびのはじまり

子どものクリエイティブを育てる体験イベント「あそびのはじまり」が、令和3年10月31日（日）、秋田市文化創造館で開催されました。

当日は、木のおもちゃで遊んだり、工作したり、秋田で活躍するプロの仕事に触れたり、様々な体験ができる催しが行われ、多くの親子連れで賑わいました。

図書館が協力した「はらっぱ図書館」のコーナーでは、移動図書館イソップ号の特別出動、おはなし会、本の展示を行いました。



イソップ号特別出動！

用カードを登録して、初めて本を借りる方もいました。

明徳館ボランティアの会の皆さんによるおはなし会では、芝生の上でゆったりとお話の世界に浸ってもらいました。



芝生の上でおはなし会

た。午後は雨のため、会場が芝生からデッキに変更されましたが、多くの人が集まって盛り上がりました。

また、「あそび」に関する本を展示し、自由に手に取って読んでもらいました。思い思いの場所で、家族で絵本を読み合い、読書を楽しむ姿が印象的でした。



家族で絵本を楽しむ

一般の部

第34回	三島由紀夫賞	『旅する練習』	乗代 雄介
第74回	日本推理作家協会賞	『蟬かえる』	櫻田 智也
第74回	日本推理作家協会賞	『インビジブル』	坂上 泉
第69回	日本エッセイスト・クラブ賞	『さだの辞書』	柳田 由紀子
第69回	日本エッセイスト・クラブ賞	『黒牢城』	さだ まさし
第166回	直木賞	『塞王の楯』	今村 翔吾
第166回	直木賞	『星落ちて、なお』	澤田 瞳子
第165回	直木賞	『テスカトリポカ』	佐藤 究
第34回	山本周五郎賞	『アンソニー・ディスタンス』	金原 ひとみ
第57回	谷崎潤一郎賞	『転がるバレル』	村雲 菜月
第38回	さがげ文学賞	『女帝小池百合子』	石井 妙子
第52回	太宰一ノノフィクション賞	『北緯43度のコールドケース』	伏尾 美紀
第67回	江戸川乱歩賞	『老虎残夢』	桃野 雑派
第67回	江戸川乱歩賞	『針葉樹林』	石松 佳
第71回	H氏賞	『貝に続く場所にて』	石沢 麻依
第166回	芥川賞	『彼岸花が咲く島』	李 琴峰
第166回	芥川賞	『ブラックボックス』	砂川 文次

児童の部

第68回	産経児童出版文化賞	『うしとぞん』	高畠 那生
第70回	小学館児童出版文化賞	『万葉と令和をつなぐアキアカネ』	山口 進
第61回	日本児童文学者協会賞	『わたし、パリにいったの』	たかどの ほうこ
第61回	日本児童文学者協会賞	『万葉と令和をつなぐアキアカネ』	山口 進
第59回	野間児童文芸賞	『わたし、パリにいったの』	たかどの ほうこ

令和3年度の主な文学賞受賞作

※文学賞名ならびに同時受賞者名は五十音順

令和3年度事業

令和3年度に中央図書館明德館、フォンテ文庫で実施したものを紹介します。

資料展示

「あなたのために秋田市立図書館の雑誌を集めました。」

◆4/6～5/30

明德館以外の市立図書館で所蔵している雑誌の展示・貸出し。



こどもの読書週間資料展示

「本ではぐくむ こどものころ」

◆4/20～5/16

乳幼児の発達段階に合わせて、絵本を中心に展示。また、小学生向けに読書のバリアフリーに関する本を紹介。

「訪問おはなし会

ー読書週間ー」

◆4/23～5/12

◆10/27～11/9

期間中の平日に、ボランティアが市内の保育施設などを訪問し「おはなし会」を開催。

「第1回芥川賞正賞
懐中時計特別展示」

◆6/22～7/4

◆1/25～2/6

第1回芥川龍之介賞の正賞である懐中時計を1階カウンター前に展示。

「アニバーサリースペシャル
フォンテ文庫
ありがとう10周年」

◆6/26

ボランティアグループ「おはなしハーモニー」による、人形劇「3びきのこぶた」の上演。

「小学生の選書体験」

◆6/27、7/4、

7/11

5、6年生の図書委員を中心に、学校図書室に置いた本に立ちそうな本を選ぶ。



「中学生の
選書体験」

◆7月～12月

司書が行っている選書と同様の手順で、本を選ぶ。

資料展示

「調べ学習に役立つ夏休みチャレンジコーナー」

◆7/6～7/15 ◆8/4～8/29

(7/16～8/3は工事のため休館)

夏休みの課題や自由研究の題材となるような図書の展示・貸出し。



「図書館で見つけよう！
子ども調べものカウンター」

◆8/4～8/9

子ども専用の読書相談コーナーを設け、本の探し方などをアドバイス。

夏休み子ども講座

「切り紙でデザインする
ステンシルマイバッグづくり講座」

◆8/5

布バッグに自分で切り抜いた紙を配置し、染色してオリジナルのマイバッグを作る。関連資料の展示・貸出し。

資料展示

「SDGs でつながる世界展」

◆8/11～9/5

◆共催：独立行政法人国際協力機構 JICA東北
秋田県内のJICA海外協力隊の活動やSDGsを紹介するパネル展示と、関連図書の展示・貸出し。

食生活改善普及運動月間資料展示

「じょうずに食べて、
じょうぶなカラダをつくろう！」

◆9/7～9/29

連携：保健予防課
感染症予防の食事に関するパネル展示と、関連図書の展示・貸出し。

「明德館
子ども広場」

◆9/26

ボランティアによる、人形劇「三びきのやぎのらがらどん」、大型絵本「おぼけのてんばら」などの上演。

読書週間2021企画資料展
「北の文学 北海道・東北の文学を楽しむ」

◆10/1～11/14

北海道・東北ゆかりの作家の作品を展示・貸出し。また、北海道・東北の文学館や作家記念館のポスター・パンフレットを紹介。



市民文化講座

「はじめての多読英語
図書館でたくさんの英語に触れよう」

◆10/23、11/6 (全2回)

講師：山田佐和子氏 (大人のあそまなびばen)
多読学習の入門講座。他の学習法との違い、自分のレベルに合わせて読み進めるコツを学ぶ。

移動図書館イソップ号特別巡回
「あそびのはじまり2021」

◆10/31

◆会場：秋田市文化創造館
子どもたちが様々な体験をするイベントにイソップ号が出動。ボランティアによるおはなし会を実施。

「フォンテ文庫
ウィンターズスペシャル
冬のおたのしみ会」

◆12/11

職員によるマジックショーや、パープサートシアター、紙コップシアターの上演。

「図書館のお仕事たいけん」

◆12/19

児童コーナーの書架整理、カウンター業務、おすすめ本の展示コーナー作りを体験。



市民文化講座

「幕末維新期 非業のヒーロー」

◆2/4、2/5 (内容は両日とも同じ)

講師：小国裕実氏 (明德館元館長)
幕末から明治維新にかけて活動した、橋本左内など4人の生き方を通して、激動の時代の一端に迫る講座。

市民文化講座

「太極拳からうまれたゆったり体操
誰でもできる養生功」

◆2/19

講師：朝香美保子氏 (「太極拳 立華」主宰)
体を動かしながら、心身の健康について学ぶ。併せて関連図書の展示・貸出し。

「雑誌リサイクル」

◆3/12

保存期限が過ぎた図書館の雑誌を、市民の皆さんに無料で提供。